



特集担当者のオススメ

子どもも楽しめるトイRCを販売していることも京商の魅力。表紙でミニカーを襲おうとしている『R/C レーザーガンダイナソー ヴェロキラブトル』(左)も近年の傑作作品! 『R/C レーザーガンダイナソー スピノサウルス』(右)とセットでいかが? 価格各5830円

【特集】

陸・海・空を網羅する模型メーカーの雄

祝
還暦

京商 大図鑑

1963年の創業以来、時代を先取りするモノづくりにこだわってきた京商。そのプロダクトの数々が模型好き&クルマ好きの琴線に触れるのはなぜか? 京商の創業60周年を記念して展開する今回の特集では京商が積み重ねてきた60年の歴史振り返りや最新モデルの紹介はもとより、スタッフの想いやこだわりを徹底取材して京商プロダクトの魅力を紐解いていく。

P42 KYOSHO HISTORY since 1963
京商60年の歩み

P44 全日本模型ホビーショーの京商ブース見て歩記
2023 AUTUMN&WINTER
NEW MODEL COLLECTION

P48 ビンテージシリーズの今までとこれから①
粉川 章氏インタビュー

P50 ビンテージシリーズの今までとこれから②
JJアルティマが36年の時を超えて堂々デビュー!

P52 ビンテージシリーズの今までとこれから③
世界と戦ったオブティマミッドの原点が復活!

P54 ビンテージシリーズの今までとこれから④
第1弾〜第12弾の全モデル一挙紹介

P56 京商マンのお仕事拝見【その1】
スモールサイズRCカー開発に駆ける想い
〜MINI-Z RACER開発者・岩崎航平さんの場合〜

P58 フロホメーカー社長から見た京商
同じ“魂”をもつメーカーとして

P60 京商マンのお仕事拝見【その2】
デフォルメ&ディテールアップの極意
〜RCボディ開発者・片野 亮さんの場合〜

P62 現地スタッフがナビゲーション
Welcome to Kyosho America.

P64 世界のディストリビューターに聞いたKYOSHOの魅力
We are KYOSHO family!

P65 知ってる人は相当の京商マニア!
京商のノベルティグッズ大集合!

P66 ふたつの心臓をもつインファernoの「笑は……」な話
JITSUWA……

P68 京商マンのお仕事拝見【その3】
誰もが笑顔になれるイベントを目指して
〜イベント担当者・笹井 強さんの場合〜

P70 あなたの知らない世界を垣間見る
京商のイチバン

P72 「京商の社員は乗りもの好き」の噂は本当?
あなたの愛車、見せてください。

P74 KYOSHOのモノ差し

P76 京商の1/43 UD Quon GW 6×4 新型トラクターを
ミニカーと言う勿れ

P78 1/64のミニカーと小冊子のセットで4950円
これって高い? それとも 安い?

P80 ランクル愛に溢れる自動車ディーラーを訪ねて
ランクル好きが語る京商のランクル

P82 インスタ映えする1/64のチンクエチエントは
フィアット女子のマストアイテム

P84 京商マンのお仕事拝見【その4】
ミニチュアカー開発&営業担当者のホンネ
〜足立喜代嗣さん&岡部映広さんの場合〜

P86 モップにゴミ箱にゴキブリまで!
トイホビー史に名を刻むアツと驚く名(迷)作

P88 お手頃価格がうれしすぎる
トイホビー最新カタログ

P90 大人も楽しめる
京商エッグの4気筒エンジンモデル

P92 Epilogue
京商のソコヂカラ
〜森元義晴社長インタビュー〜

mono

CONTENTS.2

2023.11-2 No.925



mono編集部モノ差し	032
うーん、うなるモノ	036
ジン・デポ	038
みんなの時計	094
宮内裕賀の「日本イカ化計画」	096
柳町正蔵の「ミステリーキャスケット」	097
こちら杉並区南阿佐ヶ谷大谷文具店	116
金属恵比寿 高木大地の「狂気の楽器塾」	118
みうらじゅんの今月の「グッとくる宝物ベスト2」	119
クロラボ	120
スタイリングモノ	123
新製品情報	130
モノ進化論	134
モノ・ショップ新聞	136
インフォメーション	138
バックナンバー	139
次号予告	140
モノ・ショップジャーナル	141

【巻頭特集】

日本初公開のマムートスイス
本社取材からトレンドまで!

ちょっと差をつけたい アウトドア

008

秋冬のニュースを一挙ご紹介。日本初公開となるマムートのスイス本社取材では、社長やプロダクトチームの生の声をお届け！登山体験など美しいビジュアルと合わせてチェックを。さらに今年50周年を迎えるパタゴニアやモノづくりに定評のあるブランドの独自技術を徹底解剖。これさえ読めば今手に入れるべきものがわかるはず。



【連載企画】 文と構成／河村喜代子 写真／AAFES、米議会図書館、米陸軍、WPPコレクション
Text & Edit/Kiyoko Kawamura Photo/US Army & Air Force Exchange Stores, Library of Congress, US Army, WPP Collectio

兵士が行くところならPXも行く。 098

ポストエクスチェンジ物語 第28回

太平洋の上に延びている海の道路の交差点に、ハワイ諸島が並んでいる。そこでは古来より、東と西、北と南から人とモノと文化が集まった。戦争という、大きな破壊と悲劇をともなう衝突も起きた。今回は第2次世界大戦の真珠湾攻撃前後の時代のポストエクスチェンジを見ていく。



【特集】流行に左右されない男たちへ

いま買う 本格自転車

104

新しい日常での移動手段として、健康維持に、アウトドアブームだから……自転車を求める理由は数あれど、ブームによって手に入れた自転車を果たして、愛着をもって乗り続けるだろうか？自転車趣味は本来、一生楽しめる奥深いもの。ゆえに「この自転車に乗りたい!」と思える一台を探すべきなのだ。





京商ブースへようこそ!

2023 NEW

舞崎ひろえさん
 各種モータースポーツイベントでレースクイーンとして活躍し、現在はモデルやイベントコンパニオンとして活動を展開中。全日本模型ホビーショーでは、京商ブースで行われた新製品のプレゼンテーションを担当した。

模型ホビー野郎どもの冬のボーナスの使い道はこのなかにアリ!

9月30日と10月1日の2日間にわたり、東京ビッグサイトで開催された全日本模型ホビーショー。もちろん、俺たちの京商もブースを構えて新商品の数々を発表。だが、しかし……読者のなかには行きたくても行けなかったという人もいるだろう。そこで!ここでは京商ブースに展示された新商品を一気見せして、アナタの物欲を激しく刺激する!

写真/熊谷義久 文/モノマガジン編集部

全日本模型ホビーショーの京商ブース見て歩記
AUTUMN & WINTER MODEL COLLECTION



1/10 RC
 京商史上最高レベルの
 ウルラスケールボディ

【特集】
京商大図鑑

実車と同様に走る場所を選ぶことなく遊べるのもこのモデルの大きな魅力。キャンプやBBQといったアウトドアレジャーとの親和性も高いだけに、休日の新たなお供として購入を検討してみては?



1/24 RC

実車は納車数年待ち…でもRCカーなら即納!



1/27 RC

待望のコンパクトスポーツが登場

**ミニッツ4×4レディセット
 トヨタ ランドクルーザー 300 価格各3万3000円**
 本格クロカン走行が楽しめるミニッツ4×4にランクル最新モデルの300系が登場。実車の納車が数年待ちともいわれる人気モデルだけに……だったらRCカーでガマンしちゃうのも一興!? ボディカラーはプレシャスホワイトパールとブラックの2色展開。11月発売予定。

**ミニッツAWDレディセット
 トヨタ GRMNヤリス サーキットパッケージ 価格各3万800円**
 500台限定で発売された“究極のヤリス”がミニッツAWDのラインナップに加わった。標準装備のタイヤは樹脂製で、同車がWRCなどで披露する豪快なドリフト走行も再現可能だ。ボディカラーはホワイトパールとガンメタリックの2色展開。12月発売予定。

2021 トヨタ タコマ TRDプロ
 価格各8万1400円

トヨタが北米市場をメインに開発したピックアップトラックをRC化。筋骨隆々のエクステリアはもちろん、TRD Pro専用グリルやライトバケットを別体パーツで構成することで実車と見間違えるほどの高い完成度を実現。実車のパターンを模したタイヤもスケール感を高めている。ボディカラーはルナロックとエレクトリックライムの2色展開。11月発売予定。

シャシーはフルタイム4WDが安定感の高い走りを約束するロングホイールベース&ショートトレッド仕様。



ド派手なレーサー&ラリーカーも人気は健在!

(左)メルセデスAMG GT3は電動RCカーの走りが純粹に楽しめるベーシックモデルとして12月に発売予定。価格も比較のお手頃だ。(右)フェーザーMk2シリーズでは初のラリーモデルとして11月に発売予定のインプレッサ。埃や砂、小石などからRCメカを守るシャシーカバーも標準装備、より豪快な走りが楽しめる。



**2020 メルセデス AMG GT3
 “50 Years Legend of Spa”**
 価格4万1800円

**スバル インプレッサ
 WRC 2002**
 価格4万6200円

**ピンテージシリーズの限定仕様に続く
 60周年記念のスペシャルアイテムが登場!**

(左)ミニッツAWDの着せ替えボディである「ASC MA-020 日産 スカイライン 2000GT-R (KPGC10) チューンド・バージョン レッド 60周年記念仕様」(価格6820円、12月発売予定)は世界限定4000個で販売予定。(右)京商と同じく2023年に60周年を迎えたマクラーレンとのコラボレーションで誕生した「ミニッツRWDレディセット McLaren P1 GTR 京商/マクラーレン 60周年記念仕様」(価格2万7500円、11月発売予定)。



14年ぶりのフルモデルチェンジ!
 いずれはマシンのシャシーがミニッツRWDにも採用されることになるとも噂されている。ミニッツの根幹となる1台が正式発表に。シリーズ最高峰の純粋な競技仕様に対応し、新採用のメカとパフォーマンスをフルに生かす走りを生む。



詳細は
**P56へ
 Go!**



1/10 RC

詳細は
**P60へ
 Go!**

まさかこのクルマがRCカーになるとは……
 これまでは新旧アメ車を数多くラインナップしてきたフェーザーMk2シリーズに、まさかのメルセデス・ベントツ 300 SEL 6.3が登場。とはいえ、その仕上がりは上のタコマに負けず劣らずといったところ。売れる売れないはさておき、こんなレアなクルマをRC化しちゃう京商ってスゴい!

世界の頂点で戦った雄姿再び!

オプティマミッドの原点が復活!

こちらのモデルは1987年世界戦に選手として出場した粉川氏が実際にドライブしたもので、現存するこのマシンを参考に今回の復刻版オプティマミッドが再設計された。ボディは未塗装で付属するため、ペパーミントグリーンを再現するための色調ガイドがマニュアルに記載されている。前後ホイールも専用色。



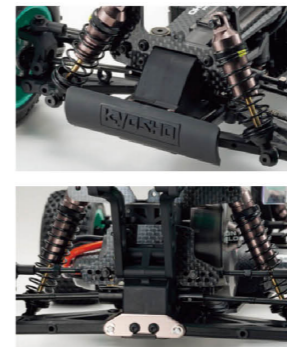
※写真は1987年当時の粉川選手のマシン。



スリムなシャシーデザインがオプティマシリーズの特長。80年代のそれとは微妙にサイズの異なる現代の走行用バッテリーも搭載可能で、当時にはなかったブラシレスモーターにも対応している。



前後オイルダンパーは60周年記念モデルだけのガンメタリック仕上げ。ダンパーシャフトにはチタンコーティング処理が施され、スムーズな動作を実現すると同時に高い耐摩耗性も確保される。



前後のオイルダンパー取り付け部はこれまでオプションパーツで販売されていたカーボン製を標準装備。記念モデルならではの豪華な装備だ。

この世界戦スペックは60周年記念限定のため、欲しい人には販売店への予約をオススメしたい。

プロトタイプモデルが36年の時をへて市販化!
衝撃のJJアルティマ復刻に続いて登場した京商ビンテージシリーズ第14弾は、JJ同様に87年電動バギー世界選手権で活躍したオプティマミッドだった。
モーター搭載位置をこれまでのリアタイヤ後方からタイヤの前(「ミッドシップ」)に変更したオプティマミッドは試作車がこの世界戦に投入され、その後改良を施されて市販車が生じた。市販バージョンのオプティマミッドはすでにビンテージシリーズで復刻されているが、今回はなんと試作モデルを復活させるのだから驚き。
復刻版のオリジナルは、オプティマ&アルティマシリーズ設計者でもある粉川章氏が87年世界戦でドライブしたマシン。オリジナルをベースにしつつ、現代的なブラッシュアップを加えて現役のRCカーに生まれ変わっている。

ハードアルマイト処理が施されたジュラルミン製メインドライブシャフト。モーターの回転をスーパーギヤで受け止めるシャフトで、軽量&高剛性が駆動効率向上に貢献する。



前後ギヤボックスに装備されるデファレンシャルユニット。コーナリング時の左右タイヤの回転差を吸収し、過度の負荷が加わった際には適度にスリップして操縦性を最適化するボールデフを採用。



OPTIMA MID
'87 WC Worlds Spec
60th Anniversary Limited

1987年当時に存在し、これまで復刻されていなかったオプティマプロ用ボディが付属する。



世界選手権に投入されたオプティマミッドのプロトタイプは、試作パーツを量産化する際に細部が変更され、ボディも新規にデザインされた専用タイプが採用された。そのため世界戦仕様モデルは販売されず、今回の60周年記念仕様が初の市販化ともいえる。各種オプションパーツを標準装備。

【特集】
京商
大図鑑

1/10 EP 4WD レーシングバギー
オプティマミッド
'87世界戦スペック 60周年記念限定仕様
価格7万4800円

市販モデルではなく世界選手権用プロトタイプを復刻販売するという、60周年記念ならではの異色のモデル。世界戦では試作ながら総合2位に食い込む活躍を演じた。12月発売予定。

新たな局面に突入した

ビンテージシリーズの今までとこれから③

最新ビンテージシリーズ紹介 第14弾

2WDのJJアルティマが復活となれば、4WDのオプティマミッドも欠かせない! 京商ビンテージシリーズの新たな展開をけん引する期待の最新作は、1987年の世界戦で鮮烈なデビューを果たしたこのマシンだ!

文/長谷川敦

日本の電動アシストMTBの夜明けせよ!

自転車といえば「電動アシスト車」を連想する昨今である。その第一歩はヤマハが発動機が1993年に発売したPASに遡るが、2015年からスタートしたスポーツ電動アシスト自転車「YPJ」の躍進には目を見張る。背景にあるものは普段の移動をアシストする実用面のみならず、スポーツユーザーのハートに訴えるマシンの充実、さらには仲間同士でリンクする熱心なファンが存在である。編集部は富士宮の高原で開催されたYPJミーティングに赴いた。これは現役YPJオーナーのみならず関心をもつ誰もが参加できるイベントで、マウンテンフィールドにおける最新モデル試乗体験を中心に、レッスン、ツーリングなど充実の内容で運営されている。

「欧米ではすでにeMTB＝電動アシストMTBによるグラベルやマウンテンライドが一般化しています。日本では今がまさに普及期の入口。大自然を走破するシーンで電動アシストの力がいかに有効かの圧倒的な楽しさを体感頂きたいと思っています」とは、ヤマハ発動機販売で長年PASやYPJのマーケティングに携わる鹿嶋さんのコメントだ。アップありダウンありのマウンテン/トレイルライドはその走路の多彩さゆえ、自然を駆ける魅力に満ちている。楽しい、

アツいぜ、YPP!!

すべての始まりは、ヤマハが発動機が1993年に発売したPASだった……。電動アシスト自転車という現在の自転車のメインストリームはいま走る喜びの領域へ。YPJを思いっきり楽しめるアツい日を取材した。写真/青木健格(WPP) 文/モノマガジン編集部



アツいぜ! YPJガイドツアー
YPJオーナーが参加できるガイドツアーは所要時間90分、幻想的な朝霧高原を快走する大満足コースだった。

アツいぜ! 大試乗会!!

誰でも参加できる大試乗会は大賑わい。試乗モデルはWABASH RTとYPJ-MT Pro。起伏のある多彩なコースでYPJの実力を体感。合言葉は「今回はマイマシンで参加するぞ!」だ。

アツいぜ! Yのポーズ!



編集長もMT-Proに大興奮! フルサスによる確実な路面のトレースカ、坂道でもどんとこいのアシスト力でヤマハラらしい「人馬一体」を実感。30台限定で完売だけどうせローン組むなら「MT-Pro 30周年記念モデル」が欲しい!

アツいぜ! ヤマハもアツいぜ!

ヤマハ発動機販売 鹿嶋泰広さん
「今年にはPAS誕生30周年。PASは人々の生活を便利にし続けてきましたが、YPJは日常と非日常をつないで人生を楽しく豊かにしてくれるツールです。ぜひその楽しさをご体感ください!」

もつと上手く走りたい、攻略したい……そんな「もつと」な気持ちでフォロワーしてくれるのが電動アシストなのだ。アトラクタ五輪でダウンヒル種目に出場した小林可奈子さんは言う。「シンプルなお操作系、自然なアシストの出力といった部分にYPJの魅力を感じます。自転車と一体になったような爽快感があるのです。さらに小林さんは「ギアシフトよりもアシストモードで走破する」という場合があるともいう。こういったプロライダーならではの指摘を直接学べるのはファンミーティングならではのメリット。たった一言のアドバイスが走りを上達させることがあるのだ。



アツいぜ! ライディング レッスン
「選手としてMTBに乗ってきましたので電動アシストはなんとなく乗らず嫌いだった(笑)のですが、YPJで印象が180°変わりました。操作系がシンプルで迷うことがないし、アシストの調子がとても自然なんですよ!」

アツいぜ! ライディング レッスン
「選手としてMTBに乗ってきましたので電動アシストはなんとなく乗らず嫌いだった(笑)のですが、YPJで印象が180°変わりました。操作系がシンプルで迷うことがないし、アシストの調子がとても自然なんですよ!」

アツいぜ! 9.23 富士宮 YPJファンミーティング!



嵐を呼ぶYPJファンによる大盛り上がり大会! YPJオーナーも予備軍も存分にこぎまわった一日だった。

次のイベントもアツいぜ!
10.21(土) YPJ café
千代田区「番町の庭」でYPJシリーズを気軽に体感できるYPJ café。オーナー同士の交流あり、試乗体験もあり。詳しくはQRコードからチェック!



詳しくは

本格自転車 & ギア

YPJシリーズに最適



CROSSCORE RC
新フレーム、新ドライブユニット、最大走行距離200kmを実現した電動アシストクロスバイク。通勤通学、スポーツライドなどマルチにこなすYPJの売れ筋。価格31万7900円。

話題のグラベルを楽しむ
WABASH RT
CROSSCORE RC同様の車体設計をベースにオン、オフの快適性を両立した電動アシストグラベルバイク。乗ったまま高さ調整できるドロップシートポスト装備。価格43万8900円。



XC伝説、ここに完結!
YPJ-XC Final Edition
オンとオフをつなぐ電動アシストマウンテンバイクとして、2018年の発売以来好評を得てきたロングセラーの最終モデル。価格43万5600円。

違いのわかるキミへ
YPJ-MT Pro
ヤマハ最小最軽量ドライブユニットを搭載したYPJの頂点モデル。ヤマハDual Twinフレーム、フルサスペンションなどヤマハラらしい「人馬一体」の走行感が味わえる。価格74万8000円。

Publisher

今井今朝春
Keshaharu Imai

Editor-in-Chief

前田賢紀
Takanori Maeda

Deputy-Editor

関谷和久
Kazuhisa Sekiya

松崎薫子

Kaoruko Matsuzaki

Editor

小野正章
Masaaki Ono

大谷 暁

Satoru Otani

片岡静香

Shizuka Kataoka

加藤文晶

Fumiaki Kato

友井健人

Taketo Tomoi

竹本 泉

Izumi Takemoto

藪崎 大

Dai Yabuzaki

Directing Editor

土居輝彦
Teruhiko Doi

Art Director

若山トシオ
Toshio Wakayama

Designer

フェイヴァリット・グラフィックス
favorite graphics

伊藤たまお

Tamao Itou

Staff Photographer

鶴田智昭
Tomoaki Tsuruda

青木健格

Takehori Aoki

Advertising Director

坪井一雄
Kazuo Tsuboi

鈴木敏弥

Toshiya Suzuki

上田秀一

Shuichi Kanda

Production Director

小川俊介
Shunsuke Ogawa

Circulation Manager

笹川裕史
Hiroshi Sasagawa

Print

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP

Base, Nagi

ワールドフォトプレス総合サイト

モノマガジンweb

に遊びに来てね!

https://www.monomagazine.com/



SNSでも新鮮情報発信中! フォローしてね!



https://www.facebook.com/monomagazine1982/



https://twitter.com/monomagazineweb/

スマホでもモノマガジンが読める

「dマガジン」「楽天マガジン」「ビューン」をチェック!

NEXT

次号予告

特集

特集

総力特集

俺たちを育てた「空想の力」を再びフルチャージせよ!

円谷60周年とウルトラマジン大特集

新作「ウルトラマンブレーザー」が絶好調の円谷プロダクションは、今年が創業60周年。ヒーロー作品の祝宴「SUBURAYA CONVENTION 2023」が11月25日と26日に東京ドームシティで開催される。今年のテーマは「空想の力。グッズ情報とヒーロー大図鑑と総力取材、そして別冊付録も! 全国民必読のウルトラ特集第4弾!

新調するならこの一足!

イマドキの傑作シューズ

旅行やイベントも復活し、この冬は海外旅行を計画している人たちもきつと多くいることだろう。そこで重視したいのが、歩行を足もとで支える靴。ということ。この街履きはもとより、通勤や旅行をより快適にしてくれるイマドキの傑作シューズを一堂にラインナップ。ハイテク素材や機能を満載した、歩きたくなる最新モデルをお届けする。

モノを駆使して「健康なカラダ」を極めよう!

カラダ絶対好調

仕事や忙しくて食事や生活習慣が乱れてしまった、運動不足による肥満や関節痛など、カラダの不調を感じている人に朗報! タイバ重視で自宅にいながらスマートに運動できるフィットネスギア、効率良く栄養が摂取できるスマートフード、健康的な睡眠、大人の菌活など、毎日の習慣で無理なくカラダの調子を整える情報でんご盛り。

■うーん、うなるモノ

■モノ進化論

■mono編集部モノ差し

■monoの大捜査線

モノマガジン11-16情報号 NO.926

11月2日(木)発売 特別定価 750円(税込)

●モノ雑誌のバイオニア 毎月2回(2日・16日)発売

mono

発行人●今井今朝春

編集人●前田賢紀

発行所●株式会社ワールドフォトプレス

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-12-1

アズ阿佐ヶ谷

TEL:03(6383)2331【編集部】

03(5929)7682【メディアビジネス部】

03(6383)2390【販売部】

FAX:03(6383)2583【編集部】

03(6304)9443【メディアビジネス部】

03(6383)2574【販売部】

印刷所●大日本印刷株式会社

●編集の都合上、内容が一部変更される場合もありますのでご了承ください。

●乱丁・落丁は送料小社負担にてお取り替えいたします。

●本文中の価格は消費税込みの総額表示です。

実勢価格は編集部調べの価格です。